

時局認識を深くし、有ゆる困苦缺乏に打勝つて總動員の實行に邁進し
國運の進展に寄與せねばならぬと考へる次第である。

極秘

閣下第二三八號

案起

昭和十五年七月五日

閣議決定昭和十五年七月八日施行
裁可昭和十五年七月八日

昭和十五年七月八日

總理大臣

山

內閣書記官長



內閣書記官



外務大臣

山

陸軍大臣

山

文部大臣

山

遞信大臣

山

厚生大臣

山

內務大臣

山

海軍大臣

山

農林大臣

山

鐵道大臣

山

大藏大臣

山

司法大臣

山

商工大臣



拓務大臣

山

別紙企畫院總裁上申

昭和十五年度對滿支貿易計畫

細領ニ關スル件
右閣議ニ供ス
文質易信畫

通牒案

昭和十五年七月十八日

内閣書記官長

企畫院總裁宛

依命通牒

昭和十五年七月十七日企畫院上申第一四六
號ヲ以テ上申ニ係ル昭和十五年度對滿

支貿易計畫細領ニ関スル件上申ノ
通閣議決定相成候

内閣

主任官 第五部 油谷事務官

企畫院上申第一四六號

昭和十五年七月十七日

企畫院總裁 竹内可吉



内閣總理大臣 米内光政 殿

昭和十五年度對滿支貿易計畫綱領ニ關スル件

昭和十五年度對滿支貿易計畫ニ關シ別紙「昭和十五年度對滿支貿易計畫綱領」ノ通閣議決定相成様致度此段及上申候

閣甲三二八

内閣

機密取扱

昭和十五年七月

昭和十五年度對滿支貿易計畫綱領

企計 五 貿三 號

昭一五 七 九

貿易委員會

昭和十五年度對一滿 支 貿易計畫綱領

第一 本計畫ハ昭和十五年度ニ於ケル本邦ト滿洲（關東州ヲ含ム以下同ジ）及本邦ト支那トノ間ノ輸出入貿易額ヲ概定シ、別途決定ノ昭和十五年度物資動員計畫及資金統制計畫ト照應シ本邦ト滿洲及本邦ト支那トノ間ノ國際收支ノ均衡ヲ保持シ國プロツク經濟ノ健全ナル發展ヲ圖ル目的ヲ以テ設定セラルルモノトス
尙本計畫ノ設定ニ當リテハ滿洲ト支那トノ間ニ於ケル收支ノ狀況ヲ考慮ニ入ルルモノトス

第二 本計畫設定ノ重點ヲ左記諸項ニ置クモノトス

(一) 本邦側ヨリ供給スベキ物資ノ數量ハ本邦第三國輸出ノ維持伸張及國民生活ノ確保ニ支障無キ範圍ニ於テ出來得ル限り多カラシムルコト

(二) 滿洲及支那ヨリ供給ヲ受クル物資ノ數量ハ現地ノ事情ノ許ス限り多カラシムルコト

(目) 交流物資ヲ付テハ本邦、滿洲及支那ニ於ケル消費統制方針並滿洲及支那ニ於ケル圓系通貨價值維持方策ニ即應シ適當ナル品目ヲ選擇スルコト

(四) 物資動員計畫物資ハ當該計畫ニヨルコト

(五) 滿洲及支那ニ對スル本邦側出超額ハ對滿支投資額ヲ含ム貿易外收支上ヨ本邦側支拂超過額ニ照應セシメ以テ國際收支ノ均衡ヲ圖ルコト

第三 昭和十五年度ニ於ケル本邦ト滿洲及支那ト間出入計畫額ヲ左ノ準制定スルモノトス(別表一及二參照)

(單位 千圓)

一 對滿輸出入計畫額

輸 出

一、四八〇、〇〇〇

輸 入

六〇〇、〇〇〇

二 對支輸出入計畫額

輸 出
輸 入

備 考

八五二〇〇〇
三七〇〇〇〇

一、對滿輸出額ニ資金的調整ヲ加フルトキハ

一、五五四〇〇〇

トナリ輸出超過額ハ

九五四〇〇〇

トナル

二、對支輸出入額ニ資金的調整ヲ加フルトキハ輸出額ハ

八二五〇〇〇

トナリ輸入額ハ

二八五〇〇〇

トナリ輸出超過額ハ

五四〇〇〇〇

トナル

第四 右計畫額ニ照應スベキ本邦ト滿洲及支那トノ間ノ貿易外收支計畫ハ別掲數額ニ依ルコトトシ別表三(照)貿易及貿易外收支ヲ通ジ支那ニ對スル本邦側支拂超過額三億六百萬圓ニ付テハ昭和十五年度貿易計畫ニ於テ決定セラレタル對支爲替援助資金八千萬圓ノ活用及對支輸出入價格調整措置ノ運用ニ依リ極力之ガ補填ニ努ムルモノトス

第五 本計畫ハ必要ナル悉ユル措置ヲ講ジ極力之ガ達成ヲ確保スルモノトシ、特ニ本邦側(内外地共)竝滿洲及支那側共ニ其ノ輸出品ノ集荷及輸出ニ必要ナル機構竝輸入機構ヲ整備スルモノトス

第六 交流物資ノ價格ハ低物價政策堅持ノ本邦側方針ニ即應スル様之ヲ定ムルヲ本旨トシ

(一) 對滿輸出入品價格ニ付テハ原則トシテ國內取引價格ニ依ラシムルコトトシ本邦側及滿洲側共ニ之ニ必要ナル措置ヲ講ズルコト

(二) 對支輸出入品價格ニ付テハ暫定的措置トシテ現地事情ヲ參酌シ
之ヲ決定スルト共ニ本邦國內物價ニ及ス影響ヲ調整スル爲必要ナ
ル方策ヲ講ズルコト

尙本邦側措置ニ關シテハ内地ト外地トノ間ニ於テ充分連絡協調ヲ
圖ルモノトス

第七 本計畫ハ昭和十五年度物資動員計畫及資金統制計畫ト骨肉表裏
ノ關係ニ在ルヲ以テ本計畫實施ニ當リテハ右兩計畫ノ實施ト照應シ
關係各廳ハ相互ニ充分連絡協調ノ上之ガ調整ヲ圖ルモノトス

第八 本計畫ハ實施ニ當リ關係各廳ハ左ノ通措置スルモノトス

(一) 關係各廳ハ月別輸出計畫ヲ作成シ実績ト對照シ之ヲ企畫院ニ報告
スルコト(陸軍、海軍、農林、商工及拓務省)

滿洲及支那ヨリノ輸出ニ付テハ對滿事務局、興亞院、陸軍~~省~~又ハ海
軍省ニ於テ現地ト連絡ノ上右ニ準ジテ報告スルコト

(二) 大藏省及拓務省ハ本計畫品目ニ依リ月別輸出及輸入統計ヲ作成

シ之ヲ企畫院ニ報告スルコト

(三) 對滿事務局ハ本邦滿關向輸出計畫中別途配分ノ滿洲國及支那向輸出計畫ノ實施ニ支障ナカラシムル様措置スルコト

(四) 對滿事務局ハ月別ニ關東州ノ輸入シタル對滿及對支再輸出實績ヲ企畫院ニ報告スルコト

(五) 企畫院ハ前各項ノ報告ヲ綜合整理シ速カニ關係各廳ニ配布スルコト

別表一

昭和十五年七月

昭和十五年度對滿支輸出計畫

企計口貿三號

昭一五七九

貿易委員會

凡例

- 一 物動物資及右物動物資ヲ主要原材料トスル製品ニ付テハ昭和十五年年度物資動員計畫ニ依リ本年度輸出計畫額ヲ掲ゲタリ
- 二 輸出品ノ單價ハ原則トシテ滿洲ニ對スルモノハ十四年中ノ平均実績ニ依リ支那ニ對スルモノハ最近ノ実績ニ依リタリ
- 三 重要輸出品以外ノモノニ付テハ差當リ關係官廳ニ於テ實施スル輸出調整方針ニ依リ本計畫額ニ於テハ一括金額ヲ以テ計上シ置キタリ
- 四 滿關向輸出計畫額中ニハ一部支那向再輸出額ヲ包含ス
- 五 本計畫ハ現地軍自体ノ需要トシテ軍が積出スルモノハ除外シアルモ、軍票交換用及輕工業原材料取得用物資トシテ輸出スルモノハ之ヲ包含スルモノトス
- 六 當該輸出入金が外貨拂ニシテ其ノ輸出ニ付特別ノ許可ヲ受ケル場合ハ本計畫外トス
- 七 本計畫ハ内地輸出ヲ包含シアリ

昭和十五年年度對 滿支 輸出計畫

(※物動計畫物資別級參照)

品名	數量		單位	數量	金額	單位	數量	金額	單位	數量	金額	單位
	總	類										
米及穀	九六七	四六一〇五	石	五二五	一八九〇〇	圓	四四二	三三〇五	圓	五五五	圓	
小麥粉	二七九七	六〇五六	袋	六一〇	三一五〇二	圓	五六七	八六五三	圓	五五〇	圓	備考
澱粉	四五三〇	七七八〇	百斤	二八二五二	三七七二	圓	三三七八	四〇六三	圓	八九八	圓	
農作物	—	五〇〇八七	—	—	二九八三二	圓	—	一〇六二六	圓	—	圓	
玉葱	四六七四九	三二六	百斤	—	—	圓	—	—	圓	—	圓	
馬鈴薯	三六〇三七〇	二一七五	—	—	—	圓	—	—	圓	—	圓	

精糖	茶	其他	冰精	紅薯	蜜柑	雜
担	百斤		担	担	担	担
2,577	3,000	1,647	3,448	372	2,600 (1,950)	1,078
6,590	7,995	2,733	5,661	2,199	1,153	1,020
1,100	2,690					
1,572	1,583					
1,310	846					
1,377	930					
4,870	5,512					
3,355	5,933					

普通茶(一九〇
 十担) 運賃
 八五円
 (四、十番)
 二五円トス

氷砂糖	水産物	麥	煉粉乳	バター	噴霧器 食料品	麥酒	清酒	葉煙草	植物油
斤百	"	"	西千	斤百	瓶	石	"	斤百	"
七五〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	四、六五二	(一、三三六) 大田	五、二〇〇	三、三七一、一五	一、三三、四九四	四、三、四九五	一、三三、三八四	三、五、八六〇
二、二二二	八九〇〇〇	一、八七四	一、三三四	四、六三	三、一九九	八、三九四	六、〇五四	六、一九八	一、五、四八
三、七五〇〇	二〇、〇〇〇、〇〇〇	三、九	(六、八七) 三三	四、二〇〇	三、三三九七	四、一九九四	二、六、八一	八、五、八三三	五、〇〇〇
九一九	四、九二〇〇	一、〇一八	六、七二	二、六八	一、九、〇三〇	二、六、二九	三、五、五一	三、三、五六	一、九〇
二、四、五〇	二、六、六	三、五、一〇〇	西、三、〇〇	六、三、二〇	八、三、九、七〇	六、二、六〇	一、三、三、一〇	三、九、一〇	三、八、一〇
三、七、五〇〇	一、〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一、七、五、一	(六、八七) 三三	一、〇〇〇	一、〇、七、七〇	九、一、五〇〇	一、六、六、四	三、七、五、五二	三、〇、六、〇
一、三、一、一	八、〇〇〇、〇〇〇	八、五、六	六、七、二	一、九、五	一、三、九、六〇	五、七、六、五	三、五、〇、三	二、八、四、一	一、三、五、八
三、五、〇〇	八、〇〇〇	四、八、七、一	二、一、〇	天、二、六、〇〇 二、四、〇、〇〇 人、三、六、〇〇 一、六、〇、〇〇	八、八、〇	六、三、〇、〇	一、五、一、七〇	七、五、六、三	四、三、〇、〇
			煉乳二八 西粉乳三六 十	天、二、六、〇〇 二、四、〇、〇〇 人、三、六、〇〇 一、六、〇、〇〇	金額八、三、三〇 協金、三、三〇 ヨリ	合資、三、三〇 別、三、三〇			

薄荷油	魚油及 煉油	煉油及 帶筋破	石 漆	化學用 油	樟 腦	除蟲菊 及 同類品	殺蟲 液	廣 藥	燐 寸
斤百	"	"	"	斤百	"	"	"	"	斤百
180	25000	93500	1	1	400	26000	50000	1	71337
127	666	3880	32430	11000	110	2470	40000	8931	2849
10	10000	33000	1	1	130	6500	133333	1	30
9	336	928	1550	7000	27	530	1000	537	1
6500	2400	2900			205	800		1	3330
166	11000	6500	1	1	270	19500	3667	1	71337
108	330	2953	1585	9000	61	1950	3000	3661	2849
60000	30000	4000	1	1	3300	10000	8000	1	40000
台灣、廣東 ヲ含ム	四七、四三七也 朝鮮 二一六〇也 台灣 二二〇〇也								

毛織物	綿織物	ス、フ糸	ステール ファイバー	人造絹絲	毛 絲	綿織絲	プリント	インク	鉛 筆	合成染料
〃	新	〃	新	〃	新	〃	〃	〃	新	新
※三、四三七	※三、六五八	※四、一一一	※三、五六〇	※七、三〇〇	※七、三〇〇	※七、三〇〇	五、八〇〇	三、八六五	九、五〇〇	八、三、七〇〇
一、一、九二	一、一、三〇	二、一〇	二、八、三五〇	一、三、四〇	二、〇、一〇	二、〇、一〇	一、八、三五	二、五、六八	一、二、三五	六、四、一〇
二、五、三三	一、九、〇〇	一、一〇	三、九、六〇	一、	六、九、〇	一、	三、六、五〇	三、〇、一五	三、〇〇	二、〇、九三〇
七、〇、九	五、五、七〇	二、一〇	二、八、三五〇	一、	三、三、一〇	一、	九、七、五	一、五、〇二	四、〇、一	一、三、五六
二、九、七、二〇〇	四、二、九、七〇	五、二、〇、七〇	七、五、九、〇	一、	三、三、〇、九〇	一、	三、六、七、〇	六、三、七、〇	三、〇、一、三〇	六、四、八
九、一、四	一、七、四、〇、六	一、	一、	七、三、〇、〇	二、九、〇	一、	三、一、五、〇	一、五、三、八	六、一、〇	六、三、六、〇
三、七、九、三	四、七、五、四	一、	一、	一、三、四、一	一、〇、〇	一、	八、六、〇	一、〇、二、六	七、四、三	五、〇、五、四
四、一、五、〇、〇	四、四、二、七、五	一、	七、一、五、九、〇	一、八、六、七、〇	三、五、〇、〇	一、	四、〇、〇、〇	六、六、四、三	一、三、〇、〇、〇	八、〇、五、〇
七、〇、〇、〇、〇	五、一、三、〇、〇	五、〇、〇、〇、〇	七、一、五、九、〇	七、一、五、九、〇	七、一、五、九、〇	七、一、五、九、〇	七、一、五、九、〇	七、一、五、九、〇	七、一、五、九、〇	七、一、五、九、〇

銅	鉄	硝子及同類品	陶磁器	セメント	石灰	紙類	身延雜貨品	釘
116,670	24,971.33	1	1	5,590.00	28,100.00	35,946.6	1	1,112.11
9,170	13,676.6	5,000	1,600	1,298	3,970	7,835.2	1,000	1,933.3
9,848	33,000.00	1	1	35,000.00	7,000.00	35,218	1	1,742.11
7,736	8,160.00	3,000	10,768	7,350	770	4,831	1,000	6,940
	25,500.00			2,100	1,100	1,951.0	1	3,980.00
1,133.11	1,713.33	1	1	10,700.00	2,000.00	1,919.0	1	2,100.00
1,432	10,516.6	2,000	5,332	5,598	3,110.00	2,943.1	1,000	1,339
7,860	25,500.00	1	1	3,400	2,000	3,900.00	1	5,160.00
十兩半 廣貨	一、〇〇〇円大					由ハルノヲ製, ノモノニシテ, 二六三ノ封致		

黄銅	純綠電線	炭兵	鉄製品	銅及美術製品	自動車及同部外品	自動車及同部外品	ゴムタイヤ
			純				純
1,117	1	1	630	1	※機械部分品中ニ	1	※1437
749	1,836	5,274	2,955	4,166	5,944	1	2,344
1	1	1	17,600	1	1	1	837
590	1,601	4,731	7,595	3,595	3,665	1	1,155
1	1	1	43,500	1	1	1	1,379
1	1	1	870	1	1	1	600
159	3,725	553	4,350	591	3,981	1	1,189
1	1	1	4,540	1	1	1	
古羊 実績	同前	同前		古羊 実績	古羊 実績 二 依別帳生 産方松本寺 西ノ外 部外品 人モノトス		

鐵道車輛 及 寄分品	鐵 道 車 輛	鐵 道 車 輛	鐵 道 車 輛	鐵 道 車 輛	鐵 道 車 輛	鐵 道 車 輛	鐵 道 車 輛
※	※	※	※	※	※	※	※
九一七八	三二二〇	八二五	五七七	九九六七	五八八	三三〇	三三〇
一	一〇〇〇〇	一	一	二一五八	二〇〇	二〇〇	二〇〇
三六七四七	三〇七二〇〇	六一九	四六五	四三、八〇七	六三	六三	六三
一	三〇二、八〇	一	一	三〇三、三〇三	三一五、八〇	三一五、八〇	三一五、八〇
一	三、五〇〇	一	一	三、七〇〇	一三〇	一三〇	一三〇
五四九六一	七五、〇〇〇	三〇六	一〇二	五五、八七〇	五八	五八	五八
一	三、〇〇〇、〇〇	一	一	三、〇〇〇、〇〇	四六、〇〇	四六、〇〇	四六、〇〇
車務部 計 二、〇〇〇 見當) 〇、〇〇	一〇、十兩當 銅幣三三 此モノ 定不	由手 實績	他三兩洋新 八分 二五、七、一六 (九三、五五五) アリ				

九

米 穀	其 他	小 計	玩 具	分 子 部	ラ ン プ 及 部	ブ ラ ッ シ ユ	洋 傘	選 束	米 穀 又
							打 子		
						二 六 九 四	二 四	一	
二 一 三 三 三 三	六 三 七 三 三	一 六 七 三 九 八	二 〇 五	八 九 三 三		四 九 一 五	四 三 〇	四 〇 〇	
						一 三 〇 七	二 〇	一	
一 四 三 〇 〇	一 八 五 五 〇	一 〇 三 九 八	一 四 九 九	六 三 三 三		二 五 六	三 五 四	三 五 二 〇	
						打 子 一 九 五	打 子 一 七 七 〇		
						一 三 七 七	四		
八 三 三 〇	一 八 五 五 〇	六 三 七 〇	五 八	二 五 九 〇		六 三 五 五	六 六	八 八 〇	
						打 子 一 八 三	打 子 一 七 〇 〇		

IMT. 656.

99219

別表二

昭和十五年度對滿支輸入計畫

企計日貿三號
昭、一五、七、九

貿易委員會

凡例

- 一、昭和十五年年度物資動員計畫物資ハ右計畫數量中本邦ニ輸入スベキモノト被認モノヲ計上シタリ
- 二、物資動員計畫外物資ニ付テハ、実績及現地狀況ヲ勘案シ輸入可能見込額ヲ計上シタリ
- 三、單價ハ公定、協定又ハ之ニ準ズル價格アル場合ハ右價格ニ依リ、然ラザルモノノ内現在輸入價格ノ判明セルモノニ付テハ右時價ニ依リ其ノ他ハ一應物資動員計畫輸入單價ニ依リタリ
- 四、單價ハF.O.B. 建トス

昭和十五年年度本邦對滿支輸入計畫

資源名	數量		總額	滿		支	那	備考
	數量	單位		數量	金額(千円)			
普通鋼(材)	六一〇〇	噸	一三五	六一〇〇	一三三	一八六	一	物動
普通鋼(塊)	五八二〇〇	噸	八四九	五八二〇〇	八四三九	一四五	一	
普通鐵	四〇八五〇〇	噸	二二四	四〇八五〇〇	二六一四	六四	一	全
低磷鐵	一四〇〇〇〇	噸	一八二七〇	一四〇〇〇〇	一八二七〇	一〇五	一	
屑鐵	三三〇〇〇	噸	二八八〇	一	一	一	九〇	物動
鐵鉍石	三三〇〇〇	噸	四〇、六〇〇	三三〇〇〇	四〇六〇	二〇	一	
鐵鑄鋼	一	噸	一	一	一	一	一	

特殊鋼々材	タングステン鋼	モリブデン鋼	耐火煉瓦	長城粘土	層銅	アンチモン	アルミニウム	石綿(高)	石綿(善)
四三〇	五二〇	一〇〇		二〇,〇〇〇	一三九一	一〇〇	一八五〇	一〇二	一八五九
九〇三	二,三六六	四〇〇		六,〇〇〇	一四六一	一四五	五,二七三	六七	九六一
四三〇		一〇〇		二〇,〇〇〇			一八五〇	一〇二	一,三〇九
九〇三		四〇〇		六,〇〇〇			五,二七三	六七	七八五
二,〇七五・九		四,〇〇〇					二,八五〇・三	六五九	六〇〇
	五二〇				一三九一	一〇〇			六五〇
	二,三六六				一四六一	一四五			一七六
	四五五				一〇五〇・三	一四五〇			二,〇〇八
物動	全	全	全	耐火煉瓦 千起單個 二五円 四九・十五円 百五十四円	物動	全	全	全	全

製紙用パルプ	人絹用パルプ	羊毛	製綿用綿花	紡績用綿花	舌汁	ビスケット	鱗状黒鉛	螢石	亜鉛鉍	雲母(普)	雲母(高)
担	英吨	俵	〃	担	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
七,五〇〇	三〇,〇〇〇	三九,五〇〇	一三五,〇〇五	四二,二〇〇	一三二	五〇	五〇〇	二,三〇一三	八,三五〇	四五〇	四
三,〇〇〇	一三,八八二	一三,三四〇	一八,〇五五	六二,七八五	一	九	二五〇	三,四一	二,〇六三	一,七七八	一,七七八
七,五〇〇	三〇,〇〇〇	一三,五〇〇	一	一	一三二	五〇	一	四〇九	八,三五〇	四	四
三,〇〇〇	一三,八八二	二,七〇〇	一	一	一	九	一	四一	二,〇六三	一,七七八	一,七七八
四〇〇	四二九,四	二一六	一	一	一	一八〇	一	一〇〇,二	二五〇	四,五〇〇	四,五〇〇
一	一	二七,〇〇〇	一三五,〇〇五	四一,二〇〇	一	一	五〇〇	三,〇〇〇	一	四五〇	一
一	一	八,六四〇	一八,〇五五	六二,七八五	一	一	二五〇	二,二〇〇	一	一,七七八	一
一	一	三二〇	一三,三七	一五,二七	一	一	五〇〇	一〇〇	一	三,九五二	一
	物動	支那の村度 入時価	支一三三四 中支一三六四 四八千担	支一五二七 中支一五〇四 一九〇,二〇〇担		全	全	物動		全	全

飛行用材	電柱	枕木	屑ゴム	兔毛皮	羊毛皮	豚皮	牛皮	黄麻	大麻	苧麻	亜麻
3	0	本	匁	匁	枚	匁	匁	匁	匁	匁	匁
230			三二	---	三三四七	---	五八七〇	二五七〇	四七〇〇	一四五四七	六三二一
---			七	一四二	一三九八八	三三〇七	一五〇三〇	一五〇二	六五〇一	一六四八二	一一〇八二
230			三二	---	四〇〇	---	五五〇	一三五〇	二〇〇〇		六三二一
---			七	四八〇	一一〇〇	七八〇	六七七	八一〇	二〇〇〇		一一〇八二
---			二二五・八	---	三〇〇〇	---	一三三〇	六〇〇	一〇〇〇		一七五六
				---	二九四七	---	五三三〇	一三二〇	二七〇〇	一四五四七	
			六六二	---	一一七八八	二五二七	一四三三三	六九二	四五〇一	一六四八二	
			物動	満支共大短毛 皮ヲ合ハ時価	四〇〇〇 全	---	---	五六七	一六六	一三三三	
						満支共馬皮 ヲ合ハ時価	全	滿洲分八青 麻トス	全	時価	物動

燐寸用材	有煙炭	無煙炭	コークス	工業塩	食料塩	工業塩	ソーダ灰	液体塩素	塩酸	麵粉
一九九、五〇〇	三、三七〇	八三〇	三〇	九七三、三八〇	四八三、〇〇〇	五八〇、〇〇〇		—	八九六	四一五
六、四二四	八〇、八八〇	一九、九二〇	一、五〇〇	一四、五九九	七、二四五	八七〇		—	—	—
一九九、五〇〇	一、四八〇	四二〇	三〇	四二二、二八〇	三二九、〇〇〇	二二、〇〇〇		—	八九六	四一五
六、四二四	三五、五二〇	一〇、〇八〇	一、五〇〇	六一八四	四九三五	三四五		—	—	—
三三二	二四〇	五〇〇		一五				—	—	—
—	一八九〇	四一〇	—	五六、〇〇〇	一五四、〇〇〇	三五、〇〇〇		—	—	—
—	四五、三六〇	九八〇	—	八四、一五	三三、一〇	三二五		—	—	—
—	二四〇	—	—	一五				—	—	—
—	除雨凍炭	—	—	—	—	—	—	—	—	—

五

米	加里	硝酸アモニア	硝酸ソーダ	桐油	漆	ヒマシ	ヒマシ油	トルオール	モーターベンゼン	純ベンゼン
石	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
五五〇	三〇六	一五三、〇〇二	六九	六六九	一三五	一三一五七	一、〇〇〇	七八五	四八二	二、八九五
一五、〇〇〇	六六	三二、八九五	一一	一三四	六八	四六〇五	二〇〇	五五〇	一四〇〇	三、五六九
一	三〇六	一五三、〇〇二	六五			一三一五七	一、〇〇〇	七八五	四八二	一、八九五
一	六六	三二、八九五	一〇			四六〇五	二〇〇	五五〇	一四〇〇	三、五六九
一	二二五七	二一五	一五三八			三五〇	五〇〇	七〇〇大	三〇〇	三〇〇
五五〇			四	六六九	一三五					
一、〇〇〇			一	一三四	六八					
二八			二五〇	二〇〇	五〇〇					
△	△	△	物動	△	時極	物動				

六

骨粉	大豆粉	大豆	大豆	(小計)	牛肉	穀	粟	高粱	玉蜀黍
担	百斤	ク	千担		担	ク	千担	ク	千担
一五、〇〇〇	二三、一七〇	一一三四	九二〇		七、〇〇〇	七〇	一四〇	四二	一五二
四、四二五	五七〇	一三三、六七八	一四二、六〇〇	(五三、七七六)	二、一〇〇	七、〇〇〇	一三、六〇〇	四七、八	一七、八六〇
		一一三四	九二〇		七、〇〇〇	七〇	一四〇	四二	一五二
		一三三、六七八	一四二、六〇〇	(二六、四一六)	二、一〇〇	七、〇〇〇	一三、六〇〇	四七、八	一七、八六〇
		月	担当		三〇〇	一〇〇	九〇	一四	一七、五
一五、〇〇〇	二三、一七〇		一五五						
四、四二五	五七一			(三六、八六二)					
二九五	二四、六								
全	時價	尊信公社大 連賣渡極 格百斤九三 月一收 田六斤 三〇月							

七

花生油	四、一〇〇〇	四、一〇〇〇	六〇、〇〇〇	六〇、五六一	三、七〇〇〇	三、七〇〇〇	三、七〇	合
棉實油	一、〇〇〇	一、〇〇〇	六〇、〇〇〇	四八、七八九	三、三二〇〇	三、三二〇〇	三、七〇	合
胡麻油	一、〇〇〇	一、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	九、七三〇	九、七三〇	九、七三〇	四、五	合
採油用種子	二〇〇、〇〇〇	九、〇〇〇	三六〇、〇〇〇	九、七三〇	九、七三〇	九、七三〇	二、七	合
ソラ豆	三六〇、〇〇〇	九、七三〇	七、七〇〇	二、三三〇	二、三三〇	二、三三〇	三、〇八	合
桐材	七、七〇〇	二、三三〇	六〇、〇〇〇	三、三二〇〇	三、三二〇〇	三、三二〇〇	三、七〇	合
絹糸原料	六〇、〇〇〇	二、三二〇〇	六〇、〇〇〇	四八、七八九	三、三二〇〇	三、三二〇〇	三、七〇	合
其他		一〇九、三五一		六〇、五六一				
合計		九、七〇〇〇		六〇、〇〇〇				

昭和十五年七月

別表三

昭和十五年度對滿支國際收支計畫

企計臣實三號
昭、一五、七、九

貿易委員會

昭和十五年度日滿國際收支計畫
支拂勘定

貿易外

經常部

(一) 配當金、其他、資本收益

(二) 專業關係及勞務利益

(三) 海運關係

(四) 保險關係

(五) 旅行者消費

(六) 政府支拂

計

臨時部

(七) 投資關係

計

(單位 千圓)

三九〇〇〇

一五八〇〇〇

二六〇〇〇〇

二〇〇〇〇〇

三四〇〇〇〇

七三一〇〇〇

一〇〇八〇〇〇

一〇六〇〇〇〇

七〇六〇〇〇〇

貿易	合計	共〇六八〇〇〇
(一)輸入		六〇〇〇〇〇
貿易	總計	六〇〇〇〇〇
受取勘定		二六六八〇〇〇
貿易外		
經常部		
(一)配當金其ノ他ノ資本收益		二四一〇〇〇
(二)事業關係及勞務利益		三一〇〇〇〇
(三)海運關係		五八〇〇〇〇
(四)保險關係		二九〇〇〇〇
(五)旅行者消費		六九〇〇〇〇
(六)政府收入		二七四〇〇〇

差
引
過
不
足
總
計

(一) 輸
出
貿
易
合
計

計

(一) 滿洲對北支國際收支調整資金

臨
時
部
計

(一) 投資關係

二、六六八、〇〇〇	一、五五四、〇〇〇	一、一四〇、〇〇〇	一、三三〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	八三〇、〇〇〇	九八一、〇〇〇
-----------	-----------	-----------	-----------	---------	---------	---------

備考一

- 受取勘定貿易外臨時部滿洲對北支國際收支調整資金五〇、〇〇〇千圓ハ滿洲ノ對北支支拂超過額補填ニ要スル日圓資金ニ相當スルモノニシテ支拂勘定貿易外臨時部投資關係一〇六〇、〇〇〇千圓中ニ含マルルモノトス
- 二、受取勘定貿易輸出一、五五四、〇〇〇千圓中ニハ滿洲經由北支向分五〇、〇〇〇千圓ヲ含ムモノトス

二 昭和十五年度日支國際收支計畫

支拂勘定

貿易外

經常部

(一) 配當金其他，資本收益

(二) 專業關係及勞務利益

(三) 海運關係

(四) 保險關係

(五) 旅行者消費

(六) 政府支拂

(七) 其他

計

臨時部

(一) 投資關係

(單位 千圓)

(一) 配當金其他，資本收益	二	三	〇	〇	〇	〇
(二) 專業關係及勞務利益	二	〇	〇	〇	〇	〇
(三) 海運關係	二	〇	〇	〇	〇	〇
(四) 保險關係	二	〇	〇	〇	〇	〇
(五) 旅行者消費	五	九	〇	〇	〇	〇
(六) 政府支拂	七	一	四	〇	〇	〇
(七) 其他	六	〇	〇	〇	〇	〇
計	八	〇	六	〇	〇	〇
臨時部	二	八	六	〇	〇	〇
(一) 投資關係	二	八	六	〇	〇	〇

□ 在支邦銀貸出純增

計

一 一 五 〇 〇 〇

合計

四 〇 一 〇 〇 〇

貿易

一 二 〇 七 〇 〇 〇

(一) 輸 入

二 八 五 〇 〇 〇

計

二 八 五 〇 〇 〇

總計

一 四 九 二 〇 〇 〇

受取勘定

貿易外

經常部

(一) 配當金其ノ他ノ資本收益

九 〇 〇 〇

□ 事業關係及勞務利益

一 四 七 〇 〇 〇

□ 海運關係

一 二 〇 〇 〇 〇

□ 保險關係

四 〇 〇 〇 〇

差引支拂超過額

總計	貿易	輸出	臨時部	投資關係	在支邦銀預金純增	合計	內政府收入	其他	計	旅行者消費
一、一八六〇〇〇	八二五〇〇〇	八二五〇〇〇	二三八〇〇〇	二三〇〇〇	一〇〇〇〇〇	一、二三〇〇〇	二九〇〇〇	一〇〇〇〇	二七〇〇〇	二七〇〇〇
三〇六〇〇〇						三六一〇〇〇				

備考

差引支拂超過額三〇六〇〇〇千圓ハ別途昭和十五年度貿易計
算ニ於テ決定セラレタル對支爲替援助資金八〇〇〇〇千圓
ノ活用及對支輸出入價格調整措置ノ運用ニ依リ極力之カ補
填ニ努ムルモノトス

（昭和十五年對滿支輸出計畫 附表）

昭和十五年物動物資關係對滿支輸出計畫

企、第五、貿易

昭、一五、七、九

紙類	人絹パルプ製品	毛製品	綿製品	綿織物	木材	罐詰食料品	酒類	煉粉乳	米、小麥粉等	目次
.....
一九	一八	一四	一二	九	八	七	五	四	一	頁

麻製品
牛皮
セメント
ゴム製品及タンニン材料
普通鋼々材
自動車
鐵道車輛

二〇
二三
二四
二五
二七
三一
三二

米、小麥粉等

	總量	満関	支那
米及粉	九六七	五二五	四四二
小 ^x 麥粉	一、七九七	六、一〇〇	五、六七七
精糖	二、二八一	一、二〇〇	一、〇八一 (三九六)

備考

x 甲八内麥外麥ヲ含ム

括弧内ハ外ニ單ノ通貨工作用

地域別数量

	南	中	北	滿	
	計	支	支	支	閉
米	九六七	三三	一	四一〇	五二五
小麦粉(田麦)	八	一	一	三三〇三	二六九七
全(塚洲麦)	六七九七	一	一	三三七四	三四二三
小麦粉計	一一七九七	一	一	五六七七	六一二〇
砂糖	二二八一 (二九六)	一〇〇	三三 (三五〇)	七〇 (四六)	一一〇〇

砂糖 括弧内八軍ノ通算工作用

輸出單價調

品名	單價 (圓)	備考
小麦粉 (濠洲毛)	四、三四	100% 100% 100% 二、〇三九 4袋 八、八四九 月 二、六六
特等	三、七四	六、〇% 四、〇七九 4袋 一、五三五月 六、六
普一等	三、三九	一、〇% 六、七九 4袋 二、三〇一 月 八、一、天
二等	六、七五	
全 (内地支)	一九、〇〇	
糖 瑞開	三七、〇〇	
糖 北支	三五、〇〇	
糖 中南支	三五、〇〇	
米		火連 C.I.F 一、六、五
糖		天津 三、三、五
		上海 三、一、五

粉	煉	
乳	乳	
六四	二二三	總
	研	類
三二	六八	滿
		閑
三	六八	支
		那
粉乳二封入 四二四	煉乳三九 四二四 二二四	計量單價
		備
三六	二八	考

煉粉乳

四

IMT. 656.

31245

酒類

一五、六一
主稅局

種類	總額		滿洲國		閩東州		中華民國	
	數量(石)	金額(千円)	數量(石)	金額(千円)	數量(石)	金額(千円)	數量(石)	金額(千円)
清酒	三九、一三三	六、四三三	一三、〇五九	一、八九三	一三、四四〇	一、九五三	一四、六三三	六、三九六
合灰酒	四、三七三	四、五四	八八九	九二	一、四九三	一、五五	一、九九一	二、〇七
麥酒	一、三三九	六、五七	六、六八	三、八五	二、二一九	一、三一九	八、五四九	四、九三三
燒酎	二〇五	一七	四	一	一七〇	一四	三一	三
味淋	七五〇	一〇一	一三四	一八	三二七	四三	二九九	四〇
合計	一五七、七四〇	一三、二五一	一九、七六六	二、三八八	三五、五五九	三、三八四	一〇、二四三	七、四二九

備考 金額ハ左ノ稅拔價額ニ依ル(石當)

清酒 二二二、五 一五七、〇〇 (稅込卸賣價額)

五

味	燒	麥	合
淋	酎	酒	成
二〇五〇	一五五〇	一一七〇	酒
一五五〇	八二〇〇	五七九〇	一六七、五
(((一〇四、一〇
、	、	、	(稅込仰價額)
)))	

大

正饅頭食料品

(單位 担)

	正饅頭食料品	内凍粉乳
總類	三八、三五一	一、二、三、六
滿洲	二、三、〇、一、五	六、一、八
支那	一、五、三、三、八	六、一、八
北支(含蒙疆)	三、七、六、一	
中支	一、二、二、七、〇	
南支	三、〇、七	

七

坑木、枕木、電柱

備考	合計	其他	建築用材	電柱	枕木	坑木
	二一五八,〇〇〇石		一八六五,四六石			
				五〇,〇〇〇 (七三,〇〇〇石)	五〇,〇〇〇 (二五,三〇〇石)	五七,〇一五 (三〇,五五〇石)
				六〇,四五〇	二五,〇〇〇	一三,六〇〇
				六五,五〇〇	一八〇,〇〇〇	二五,〇〇〇
	三三〇〇,〇〇〇石	(一六三,五九七石)	(三三,五三〇石)	(六六,二四四石)	(三三,〇〇〇石)	(一〇,〇〇〇石)
				七一	三四九石 五六〇石	四九七
	五八五八,〇〇〇石		一九九五,三二一 (一八七,三二〇)		三八七,一一二 (一三,九三六石)	二

一、單位—枕木八立方米、枕木、電柱八丁
 二、蒙疆、以下、由該、興亞院、割當、二、依、此、

綿織物

輸出入先	品種	單位	單價	數量	金額	備考
滿洲國向	純綿	千方碼	〇・五圓	二四、〇〇〇	一三、〇〇〇 <small>千圓</small>	六、〇〇〇
支那蒙疆向	純綿 (不盡品)	〇・五圓	〇・四圓	五〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	九五、一六九
合計	純綿 混紡布	〇・五圓	〇・四圓	一三二、一〇〇	五四、八四〇	一五五、一六七
合計	純綿 混紡布	〇・五圓	〇・四圓	五六、〇〇〇	三六、〇〇〇	二〇、〇〇〇
合計	純綿 混紡布	〇・五圓	〇・四圓	五六、〇〇〇	二八、〇〇〇	一四〇、〇〇〇
合計	純綿 混紡布	〇・五圓	〇・四圓	一八七、一〇〇	八三、八四〇	二九四、一六七

外ニ輸出不盡留
綿布若干量供給
スル見込ナリ
(別記参照)

備考

- (一) 計算ハ一應全部織場トナルモノニシテ算出セリ
- (二) 〇、一五〇、〇〇〇。摺ナルモノノ内地需用約三〇、〇〇〇。摺ヲ控除スルモノトシテ残額ヲ一應紀締布トシテ輸出スルモノトセリ
- (三) 單價ハ概定数ナリ

輸出不適品支那向供給見込額（一五、五二九貿易局）

一、日糸通貨價值維持及交換物資トシテ十四年度綿輸并ノ買上

ケクル組合買手持數量四〇、〇〇〇千方碼中十五年度輸出見込ノモノ

二六、三〇六千方碼

二、「リンク」制實施ノ際ノ既約定残

一七、〇〇〇

三、特産品中單ノ買上輸出分

八、〇〇〇

四、合計

五一、三〇六

綿製品

品名	数量	満開	支那	計	備考
綿ブランケット	数量 所要棉花量	一、一八三 千枚	一七 千枚	一、二〇〇 千枚	特児毛布(經混紡糸絳落綿糸快ヒモノ)アルモ数量未定ニ付右所要棉花量ヲ算出シ得ズ
綿タオル	数量 所要棉花量	七七五 千打 三三六。捲 (特児タオル 七三〇。千打)	二五 千打	八〇〇 千打 三三六。捲 (特児タオル 七三〇。千打)	特児タオル一打平均量目一六。匁内五五%三分ノ一スノ混紡糸使用
メリヤス製品	数量 所要棉花量	一、一〇〇 千打 八一三捲 (特児靴下 二五〇。千打分)	一〇〇 千打	一、二〇〇 千打 八一三捲 (特児靴下 二五〇。千打分)	特児靴下一打平均量目二〇。匁内九分ノ二綿糸使用

(註)

綿 プランケットニ落綿糸、メリヤス製品ニ落綿混紡糸
使用ノモノアレドモ所要棉花量中ニ計上セザルモノトス
（綿タオル及メリヤス製品所要棉花量合計四、一七二搭
其ノ綿布換算一、九〇〇千方碼ニシテ右數量ハ別紙場勤
棉花需給計畫中ヨリ之ヲ控除スルモノトス）

一三

輸出先		品種類	数量	單價	價額	備考
関満						
		毛糸	六九、〇〇〇 <small>封皮</small>	三・四五 <small>銭</small>	二、三八四 <small>千圓</small>	
		毛織物	二、五二五、〇〇〇 <small>方碼</small>	四・一五	一〇、四六一	
		フエルト類	五、〇〇〇 <small>方碼</small>	四・六	二、三五	
		既製服	四、八〇〇 <small>打</small>	三六、〇〇〇	一、七三八	
		メリヤス製品	四六、〇〇〇 <small>打</small>	四〇、〇〇〇	一、八四〇	
		毛布	六三、五〇〇 <small>枚</small>	六、〇〇	三、七五	
		肩掛	二、〇〇〇 <small>打</small>	七八、〇〇	一、五六	
		フエルト類特殊	八八、〇〇〇 <small>打</small>	一三、七〇	一、二〇五	
		其ノ他織物	八、〇〇〇 <small>封皮</small>	六、九〇	五五	
計					一八、四四九	

毛製品

一四

中 支	北 支	
フェルト類	計	毛、織物 フェルト類 既製販 メリヤス製品 毛布 肩掛 フェルト帽子帽体 其ノ他織物
三〇、三三〇 ^{方碼}		二九、〇〇〇 ^{封度} 七四一、〇〇〇 ^{方碼} 四、七三〇 ^{方碼} 六〇〇 ^打 四、九〇〇 ^打 四四、七〇〇 ^枚 二〇〇 ^打 四八、〇〇〇 ^打 一、〇〇〇 ^{封度}
四・六〇		三・四五 ^錢 四・一五 四・六〇 三六〇・〇〇 四〇・〇〇 六〇〇 七八〇・〇〇 一三・七〇 六・九〇
一四〇	四五五七	一〇〇 ^{千圓} 三〇七五 二二 二一六 一九六 二六八 一六 六五七 七

一五

輸出先	南支		蒙疆		合計
	フェルト類	その他織物	フェルト類	毛織物	
品種	フェルト類	その他織物	フェルト類	毛織物	合計
数量	五、八七〇	一、〇〇〇封皮	四七、〇〇〇	六四、〇〇〇	二四、二四九
單價	四・六〇	六・九〇	四・一五	四・六〇	二一八
價額	九九八	七	一九五	三	二〇
備考					

「備考」

- (一) 毛絲、フェルト帽体ノ單價ハ三月ノ外國貿易月表ノ平均輸出單價ヲトル
- (二) 毛織物單價ハ三月ノ外國貿易月表ニヨリ圓ブロツク向毛織物ノ平均輸出價格ヲトル、其ノ他織物モ之ニ準ズ
- (三) メリヤス製品、毛布、肩掛、既製服等ノ單價ハ商工省公定價格ヨリ推定ス
- (四) フェルト類單價ハ三月外國貿易月表輸入價格ヨリ推定ス
- (五) フェルト類ハ純毛、毛布、肩掛等ハス、フ五〇%混紡、其ノ他ハ大体ス、フ七〇%混紡トス
- (六) 本表輸出豫定數量ハ物動計畫ニ於ケル輸出數量(原毛一〇、五〇。俵)ヲ製品在庫ヨリノ輸出分ヲ加算シタルモノトス

人絹パルプ製品

品	種	單位	總額	滿	閑	支那	備考
人絹	絲	百封度	六一、六〇八			C1 四八、〇〇〇 C4 一三、六〇八	支那向ニ更ニ出目絲ヲ輸出 スルモノトス
ス、フ	フ	千封度	三九、六〇〇	三九、六〇〇		一	
ス、フ	絲	々	四二	四〇八		三	
人	紙	千方碼	四五、六八六	三三、三三三		一三、三三三	一方ヤルロ・一八听
ス、フ	紙	々	一九、二四七	一八、一九二		一〇、五五	一方ヤルロ・二五听

註 ① ハ物動計畫ニ特掲シアラザルニツキ参考トシテ十四年度ノ実績数量ヲ掲ゲタリ

紙類

品名	滿		支		合		封度當單價 (圓)
	肉	向	那	向	計	計	
洋紙	※一五八、六四	六五、六一	四八、五七九	一九九、七	二〇七、二六三	八四、九七八	〇・四一
和紙	七三、五二〇	一四、七〇四	三二、五二五	六三、〇三	一〇五、〇三五	三二、〇〇七	〇・二〇
板紙	一八、〇八四	一、九八九	二九、〇九六	三、〇一	四七、一八〇	五、一九〇	〇・一一
合計	二五〇、六八	八二、七五四	一〇九、一九〇	二九〇、二	三五九、四七八	一二、一七五	〇・三一

※印物動計畫

一九

麻製品

(右側 数量
左側 金額)

(單位 円)

資源名	マニラ麻	黄麻						
製品名	マニラその他	袋	電線 被覆用	屋敷用	疊經糸 其他	計		
單位	担	枚	担	ト	ト			
單價	一〇七。	一三五	一三七六	一六九五	三五〇			
中支	二五〇七。 二〇一		四、一八三	一三五八	五、二〇二	二二、八〇八		
南支	二四九三。 二五三				二五六。	二五六。		
東支	二二八四。 二二八	六三				六三		
北支	五四二四。 五〇六	六三 六天 一〇七、三〇〇				一、三二二、五		
滿岡	六九五五。 六五〇							
計	一八〇二 一、九三八、一四〇	一〇、一七九、二六 一、三七三、四〇八	四、一三三	一三、五六八	七、六八〇	一、三九七、七六六		
備考		ニ。對策 値段下ス						

二〇

備考 右ハ北鉄賠償資材ヲ含マズ

	大 麻		苧 麻	理 麻
合計	其ノ他 ロープ	計	原料 其ノ他 苧麻布	其ノ他 針布
	起		起	起
	三、四、五		一、八、〇	三、五、三、〇、四
三、六、二、一、〇、八	四、八、九、〇、二	五、五、八、〇、〇	五、五、八、〇、三、一	六、三、五、四、〇、八
二、六、九、三、六、〇	四、八、九、〇、二	一、三、六、〇、〇	三、六、〇、〇、二	一
二、五、九、六、六、八	七、三、三、五、三			二、四、七、一、〇、七
三、一、二、一、四、〇	三、一、七、八、五	四、一、四、〇、〇	四、一、四、〇、〇	一、三、四、九、〇、〇
六、九、五、五、〇、〇	一			
四、六、九、七、七、七	四、八、九、〇、〇	一、〇、九、八、〇、〇	一、〇、〇、八、〇、〇	一、三、三、三、一、六、〇
	ロープ ターボ セグメント	同右	同右	價格ハ原料 價格ノ十割 増トシテ推 定ス

牛皮

(單位概)

数量	満開	支那	計畫單價
六二	内訳 バルトナ時 一三二五 (三〇七十四) 靴 (三二一十疋) (三二六五疋) 其他 六〇〇疋	バルトナ時 七〇〇 (二五三二疋)	バルトナ時当 七六美 (cif) 靴一足当り 十五円

二三

輸出先	單位	數	量
関 滿 甸	純		三 五 〇 〇 〇
支 那 甸	〃		二 〇 九 〇 〇
北 支	〃		一 四 〇 〇 〇
蒙 疆	〃		二 〇 〇 〇 〇
中 支	〃		三 九 〇 〇 〇
南 支	〃		八 〇 〇 〇 〇
合 計			五 五 九 〇 〇

セ
メ
ン
ト

二
四

ゴム製品及タンニン状料

品名	総額	満関	支那	備考
一、自動車 カイマ ナユーブ オースベルト 其ノ他 計 (参考)生ゴム動機 ニタンニン状料	一、四三七〇 三、三三八九六〇円	八三七〇 二、一六〇、〇〇〇円 四、三三五、〇〇〇円 六、四九五、〇〇〇円 一、三七六〇	六〇〇 一、一八八、九六〇円 二、四五〇、〇〇〇円 三、六三八、九六〇円 八〇〇 一、三三三 四九、八七五円	自動車タイヤナユーブノ数量ハ 製田ソノママノ目方ニシテ 右ハ生ゴム、屑ゴムノ割当額 ニヨリ算定シタルモノナリ 車積ハ十車成平均車積ノ二〇〇倍シ 純当生ゴム(一六〇円)ノ三倍五、〇〇〇円 ヲ製田車積ト推定ス 数量ハ原形ニシテ金額 ハC.I下植換トス

昭和十五年年度中華民國對日期待普通鋼及鐵鋼管表

種類	數量(吨)	金額(千圓)	單價(圓)	備考
素材	一七七一・二二	四五、一六六	二五五	
加工	二八、〇〇〇	七六、五〇〇	一	
内(鐵) 鐵(一)	二五、〇〇〇	七五、〇〇〇	三、〇〇〇	一〇千内當鋼材三、三吨ヲ要スルモノトス
其他製品	三、〇〇〇	一、五〇〇	五〇〇	
合計	二一〇、八二二	一三四、五一六	五〇〇	取寄統制ヲ受ケテ居ラザルモノニシテハ、五分金マルルモノ

(註一) 度量衡、自轉車、加線金物、交通標安装置及発註、炭記、ニヨル鐵鋼ヲ謂フ
 (註二) 釘、針金、鉄線、五ガロン罐、王冠、亞鉛鍍鉄板、磨帶鋼、粉砕「ホー」ル及「コン」ゲット「チ」ユー「ブ」ヲ謂フ

昭和十五年炭素鋼國對日期待普通鋼之需要明細表

(一五、五、三〇滿洲國)

需要區分		數量	單價	金額	備考
素材鋼管	滿洲場	三〇〇,〇〇〇	二五五	七六五〇〇	
	內地加工	三〇〇,〇〇〇	二五五	七六五〇〇	
加工鋼管	粗立鋼材	二〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	
	鐵	二〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	
	鋼	一〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	
	鋼製品	五〇,〇〇〇		一,九六三	

合計

鉄鋼製品

釘	針金	鉄線	硬鋼線材	溶接棒	五カソシ罐	手倉	亞鉛鍍板	薄帯鋼	粉砕ホイル	厚線管
1900	1500	500	1000	1000	2600	1000	1000	3000	4000	12000
2800	3500	3000	7000	5100	5800	2000	3600	4500	5100	5700
536	525	1500	7000	3000	637	1700	3600	1350	2000	6800

備考

三〇

(1) 素材満洲場 三〇〇、〇〇〇 純中ニハ別口割當 三七、〇〇〇 純ラ合△△
 (2) 素材満洲場 三〇〇、〇〇〇 純中ニハ線折 二〇、〇〇〇 純ヲ合△モ若
 シ右素材ヲ攻テ内地ニ於テ製造化スルモノアル場合ハ線折製品割當
 ニ右相當量ノ振替場加アルモノトス
 本件割當ノ外〇・五中ヨリ製品一〇、〇〇〇 純(單價五〇〇円)金額
 五、〇〇〇、千円ナリ

自動車

備考	支那	支那	支那
	名	名	名
	数量	数量	数量
	金額	金額	金額
	單價	單價	單價
	備考	備考	備考

備考

二八、〇〇〇名
 A B
 C 内地
 C 外地
 特殊車
 一、七五六
 九、六五〇
 一、四〇〇
 六〇〇
 五四、八〇〇名 (工場採取用)

三一

満支合
鉄那計

鉄道車輛 (車輛物議会案)

新造車輛價格

三六、七四七、千円

五四、九七一、千円

九一、七八一、十円

(部分品ヲ念マズ)

(五六、三)

三二

昭和十五年年度資金統制計畫、對滿支貿易計畫
及交通勤員計畫に就いて

(企業院總裁談)

昭和十五年年度の資金統制計畫、對滿支貿易計畫及交通勤員計畫は、豫
ねて企業院に於て關係各廳と協議立案中であつたが、本日の閣議に附
議せられ決定を見るに至つた。

一、資金統制計畫

本計畫は本年度に於ける資金の需給に關する綜合的計畫であつて、
現下我國の財政經濟事情に照應し、特に公債の發行及消化、專業資
金の需給調整、滿支に對する資金供給並に資金蓄積に關し計畫を構
定し、之に伴ひ必要なる措置の大綱を定めたものである。而して之
が策定に當つては概ね

(一) 物資勤員計畫等に照應せしめて物資と資金との間の調和を保持
し、努めて物價の騰勢を阻止すること。

□ 公債所要資金、事業所要資金及對滿支供給資金は専ら蓄積資金を以て賄ひ、以て通貨の膨脹を阻止すること。

□ 公債所要資金と事業所要資金との間、及び日滿支所要資金相互間に適正なる均衡を保持せしめること。

四 資金の蓄積に關しては國民生活の戦時水準の確保に留意しつゝ、購買力の吸収に付更に一般の勞力を抑ふことを目途とした。

右に基き資金需要の總額は之を約百二十四億圓と概定し、之を公債所要資金、事業所要資金及滿支供給資金に夫々配分した。就中最も重要なるは公債所要資金である。

之に關しては準備の充實を始め時局下眞に緊急缺くべからざる政府の施策に支障なからしむること共に、他面又國債の消化力に照應せしめることに留意して計畫額を定めたのであつて、之が達成の爲には財政上、金融上必要なる諸法の措置を講ずることとした。

次に專業所収資金であるが、之に就いては昨年^{に於ける}過剩投資の實狀に鑑み、原則として緊要なる軍需産業及生産力擴充産業につき之を認め、其の他の産業に就いては特別の例外以外は之を認めないこととすると共に、資金の調達に就いても可能なる限り自己資金に依らしめ、株式、社債及借入金に依る調達は石軍需産業及生産力擴充産業以外は特別の例外の場合にのみ之を認めることとした。従つて産業資金計畫の遂行に當つては、物動計畫等と歩調を合せ各業別及各企業別重點三表を實行する方針である。そして以上の目的達成の爲には資金の運用に對する統制を強化し計畫的ならしめることが必要である。

對滿支^支供給資金は日滿及日滿國際收支計畫との關聯に於て之を計畫した。即ち滿支に對しては物資、物價、通貨等各般の事項を考慮して彼我の間の收支を調整するの要があるので、對滿支投資額も本年は特にこの全般的經濟關係調整の見地に立つて之を計畫すること、

したのである。

以上の資金需要に照應し本年度資金蓄積額は百二十四億圓と判定された。之は必ず達成すべき最少限度の額であり、その成否は前述各種の需要資金の調達に一蹴購買力の吸収に至大の影響を及ぼし、延いては現下我國の財政金融政策の圓滑なる遂行を左右するものであるから、官民共に之が目的達成の爲凡有る努力を却はねばならぬ。特に各種金融機関の蓄積目標額の設定遂行、貯蓄組合の整備増元を固ると共に、一般に戦時國民生活の合理的切下に照應すべき購買力吸収の方策を講じ戦中都市感産業及農山漁村の好況部面等特に購買力吸収の必要ありと認められる方面に對し重點を置く方針である。

二 對海外貿易計畫

本計畫は我國と滿洲及支那との間の輸出入貿易額を決定し、物物計畫及資金統制計畫と照應して彼我の間の國際收支の均衡を保持し、圓ブロック經濟の健全なる發展を圖らんとするもので、時局の推移

に伴ひ本年に至り始めて設定されたものである。物資の交流を圓滑にし、通貨價值の安定を圖り、日滿支各地域間のするは、日滿支經濟ブロック建設の基本であるのみならず、現下我國内諸般の經濟政策の遂行にも極めて重大なる關係を有するのであるが、従前の部分的且斷續的措施を以てしては到底所期の目的を達し得ないので、どうしてもこの際物資、通貨及物價につき綜合的調整を行ふことが緊要となつた次第である。

本計畫の策定に當つては概ね

(一) 我國より供給すべき物資の數量は我國の第三國輸出の維持伸張及國民生活の確保に支障のない範圍に於て、滿支より供給を受け、る物資の數量は現地の事情の許す限り、なるべく多からしめること

(二) 交流物資は各地域の消費統制方針並に滿支に於ける圓系通貨價值維持方策に即應し適當なるものを選ぶこと

曰 滿支に對する出超額は貿易外收支上の支拂超過額に照應せしめ
以て對滿支國際收支の均衡を圖ること
を主眼とし對滿、對支の各輸出入計畫及各貿易外收支計畫を設定し
た。而して之が實施の爲には各地域共に其の輸出品の稟荷及輸出機
構並に輸入機構の整備を圖り、交流物資の價額格を統制する等各波の
措置を講ぜねばならない。

三、交通勤員計畫

交通勤員計畫は運輸通信に關し實施すべき主なる統制方策を定めた
ものであつて、昨年度の實績並に現下内外の諸情勢を考慮して本年
度は全般的に統制を一層強化すると共に、特に重點を海上輸送の確
保に置いて計畫した。

海上輸送の圓滑を圖ることは實に今日の急務である。之が爲には元
づいて極力船腹の増加を圖ることとし、國內造船を促進するの外、
外國船の傭入、購入等所妥の措置を講ずると共に海運の統制を一段

と強化することが必要である。即ち船舶の計畫的運航及運航能率増進を圖る爲強力なる方策を實施することとし、港灣荷役業務の統制改善に努め、又期別に配船計畫を樹て、輸送の規正を行ふこととし、之が爲には必要に應じ海運業者に對する輸送量の割當を行ふ等の措置を執り、以て重要物資の輸送の確保を期した次第である。陸上輸送に付ても海上輸送と同様、現在客貨輻輳の狀況を緩和する爲輸送統制の強化に努めるやう計畫した。

要之今回閣議決定された資金統制、對滿支貿易、及交通動員の三計畫は曩に閣議の決定を経た物資動員、貿易、及勞務の諸計畫と相俟つて、軍需の充足、生産力の擴充、貿易の振興、大陸の開発、國民生活の確保を圖り、以て現下内外の情勢に對處すること共に、國力増進の根基に培ひ、更に進んで東亞新秩序建設の使命達成を圖らんとするものであつて、茲に本年度に於ける總動員態勢の基礎は大體成つたと申し得るのである。時局は愈々重且大である。我々國民は官民一致、更に

時局認識を深くし、有ゆる困苦缺乏に打戻つて總動員の實行に邁進し
國運の進展に寄與せねばならぬと考へる次第である。

八

機密取扱

極秘

閣甲第二六七號

案起 昭和十五年八月十九日

閣議決定 昭和十五年八月三十日施行
裁可昭和十五年八月三十日

昭和十五年八月三十日

內閣總理大臣 友

內閣書記官長

內閣書記官

外務大臣 近	陸軍大臣 近	文部大臣 格	遞信大臣 格	厚生大臣 近
內務大臣 近	海軍大臣 近	農林大臣 近	鐵道大臣 格	農林大臣 近
大藏大臣 近	司法大臣 近	商工大臣 近	拓務大臣 近	農林大臣 近

別紙企畫院總裁上申
昭和十五年度電力動員計畫ニ關

スル件

右閣議ニ供ス

通牒案

昭和十五年八月二十日

内閣書記官長

企畫院總裁宛

依命通牒

昭和十五年八月十九日上申(企畫院上申
第一七〇號)

昭和十五年度電力動員計畫ニ關ス

ル件上申ノ通閣議決定相成候

内閣

主任 第四部 榎杜書記官

企畫院上申第一七〇號

昭和十五年八月十九日

企畫院總裁 星野直樹



內閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿

昭和十五年度電力動員計畫ニ關スル件

昭和十五年度電力動員計畫ニ關シ別紙「昭和十五年度電力動員計畫綱領」ノ通閣議決定相成様致度此段及上申候

內閣

岡甲 二七七

機密取扱

昭和十五年
電力動員計畫綱領

企 畫 院	昭和十五年八月十三日	小 冊 號 一 號	企 計 G 電 〇 〇 〇 一 號 一
-------------	------------	-----------------------	--

昭和十五年度電力動員計畫綱領

第一章 總則

- 第一 昭和十五年度電力動員計畫ハ本綱領ニ準據シ實施スルモノトス
- 第二 本綱領ハ昭和十四年六月十六日閣議決定「昭和十五年度以降國家總動員設定方針」ニ基キ物資動員計畫、生産力擴充計畫及交通動員計畫等ノ諸計畫ト相俟テ昭和十五年度ニ於ケル電力ノ需給計畫ヲ設定シ之ガ計畫實施上必要ナル措置ノ大綱ヲ定ムルモノトス
- 第三 昭和十五年度ニ於ケル電力需給計畫ヲ別表「昭和十五年度電力需給對照表」ノ通トス
- 第四 計畫ノ設定竝ニ實施上特ニ重點トスル事項左ノ如シ
 - 一 軍需ノ充足ニ努ムルコト
 - 二 生産力擴充計畫ノ遂行ニ努ムルコト
 - 三 輸出貿易ノ振興ニ努ムルコト
 - 四 公共事業ノ運営其ノ他國民生活ノ必需ノ確保ニ努ムルコト

第五 各廳ハ本綱領ニ基キ速カニ各廳實施計畫ヲ設定スルト共ニ其ノ

要領ヲ企畫院ニ提出スルモノトス

各廳ハ其ノ設定セル各廳實施計畫ニ基キ動員ヲ實施スルモノトス

第六 計畫實施ニ當リ重要案件ヲ生ジタルトキハ電力動員委員會ニ依リ之ヲ調整スルモノトス

第二章 電力ノ供給確保ニ關スル事項

第七 電力ノ供給確保ハ産業活動ノ基礎的要件ナルニ鑑ミ之ガ實現ニ付テハ所要物資ノ供給確保ニ努ムル等萬全ノ措置ヲ講ズルモノトス

第八 物資需給ノ逼迫セル現況ニ鑑ミ資材ノ強度ノ經濟的利用ニ努ムルモノトシ既設電力設備ニシテ改善ニ依リ容易ニ供給力ヲ增強シ得ルモノニ對シテハ積極的措置ヲ講ズルモノトス

第九 水利施設等ノ改造若ハ運用方法ノ變更等ニ依リ容易ニ供給力ヲ增強シ得ル場合ハ關係各廳協議ノ上之ガ實現ニ努ムルモノトス

第十 發電用炭ノ品質低下ノ發電力ニ及ボス影響甚大ナルニ鑑ミ適正

炭ノ確保ニ努メ現有火力發電力ノ維持ヲ圖ルモノトス

第十一 發電用炭ノ配給ニ關シテハ關係各廳緊密ナル聯絡ヲ圖リ之ガ確保ニ努ムルモノトス

第十二 異常湧水其ノ他ノ事田ニ依リ供給力ノ減少スル虞アル場合ハ發電用炭ノ補給ニ付緊急措置ヲ講ズルノ外ニ家用電力ノ徵用等ニ依リ極力豫定供給力ノ確保ニ努ムルモノトス

第三章 電力ノ配給ニ關スル事項

第十三 電力需給ノ逼迫スル傾向アルニ鑑ミ供給力ニ餘裕ヲ生ズル場合ト雖モ不急産業部門ニ對スル新規供給ノ抑制ニ努メ以テ將來ニ於ケル電力需給ノ均衡ヲ期スルモノトス

第十四 供給力ニ著シキ減少ヲ來シタル場合ハ本計畫ニ定メラレタル需要區分別配當ヲ基準トシテ割當ヲ定ムルモノトス

第十五 配電ニ關スル統制ヲ強化シ配電網ノ整備ヲ行ヒ以テ電力動員ノ徹底ヲ期スルモノトス

第十六 關係各廳ハ各消費部門ニ對スル電力ノ配給竝ニ消費狀況、之ガ影響、對策等ニ關スル調査ヲ行ヒ四半期毎ニ取纏メ企畫院ニ提出スルモノトス

第四章 電力ノ消費ニ關スル事項

第十七 電力ノ消費規正ニ付テハ法令ニ依ルノ外國民精神總動員運動ノ強化ニ依リ國民ノ自覺ヲ促シ以テ趣旨ノ徹底ヲ圖ルモノトス

第十八 電力需要ノ季節的及時間的調節ニ關シ積極的の方策ヲ講ジ餘剰水力ノ活用ニ努ムルト共ニ渴水期ニ於ケル電力需給ノ圓滑ヲ圖ルモノトス

第十九 電力ノ能率的使用ニ付國民ヲ指導シ極力浪費ノ抑制ニ努ムルモノトス

備考
A、B、C₂、ハ物動計畫ニ於ケル用例ニ從ヒDハ其ノ他ノ一般民
需トス

昭和十五年度電力需給對照表

別表

(單位千キロワット時)

地域	想定需要					想定供給力		
	A	B	C ₂	D	計	水力	火力	合計
内地	385,000	377,000	18,577,000	17,842,000	33,381,000	23,364,300	10,016,700	33,381,000
朝鮮	11,000	2,000	3,470,020	1,810,330	5,293,700	4,589,300	903,400	5,492,700
臺灣	2,900	32,500	558,800	374,200	968,400	799,400	194,200	993,600
合計	398,900	411,500	19,405,820	19,426,830	39,643,100	28,753,000	11,114,300	39,867,300

附

表

IMT. 656. 290

昭和十五年度事業用自家用別電力需給對照並ニ配當内譯表

(單位 千キロワット時)

地 域	想 定 需 要				計	豫 定 供 給 力		
	A	B	C ₂	D		水 力	火 力	合 計
内地								
※事業用	865,000	877,000	12,871,000	15,627,000	29,260,000	22,741,000	6,519,000	29,260,000
豐水時	186,000	180,000	6,268,000	7,809,000	14,443,000	11,753,000	2,690,000	14,443,000
湯水時	199,000	197,000	6,603,000	7,816,000	14,817,000	10,988,000	3,829,000	14,817,000
※自家用	—	—	2,506,000	1,816,000	4,121,000	628,300	3,492,700	4,121,000
豐水時	—	—	1,332,000	810,000	2,132,000	324,000	1,808,000	2,132,000
湯水時	—	—	1,184,000	905,000	1,989,000	299,500	1,689,700	1,989,000
朝鮮								
※事業用	11,000	2,000	3,405,180	1,437,880	4,856,000	4,582,000	475,000	5,055,000
※自家用	—	—	34,900	372,300	437,700	7,500	430,400	437,700
臺灣								
※事業用	2,900	32,500	558,800	276,600	872,800	793,000	100,000	898,000
※自家用	—	—	—	95,600	95,600	1,400	94,200	95,600

昭和十五年内地地域別電力需給對照並ニ配當表

(單位 千キロワット時)

地 域	想 定 需 要					豫 定 供 給 力		
	A	B	C ₂	D	計	水 力	火 力	合 計
内地								
※本州中央部								
專業用	298,000	161,000	7,790,000	11,998,000	20,247,000	1,6733,000	3,463,400	20,247,000
豐水時	145,000	77,000	3,756,000	6,031,000	10,009,000	3,772,000	1,237,000	10,009,000
湯水時	153,000	84,000	4,034,000	5,967,000	10,238,000	8,016,300	2,226,400	10,238,000
自家用	—	—	437,000	601,000	1,038,000	209,000	879,000	1,038,000
豐水時	—	—	258,000	301,000	559,000	107,000	452,000	559,000
湯水時	—	—	229,000	300,000	529,000	102,000	427,000	529,000
合計	298,000	161,000	8,277,000	12,599,000	21,335,000	16,992,600	4,342,400	21,335,000
豐水時	145,000	77,000	4,014,000	6,332,000	10,668,000	3,879,000	1,639,000	10,568,000
湯水時	153,000	84,000	4,263,000	6,267,000	10,767,000	8,113,600	2,653,400	10,767,000
※中國								
專業用	4,000	167,000	376,000	936,000	1,483,000	786,000	697,000	1,483,000
豐水時	2,000	80,000	176,000	459,000	717,000	378,000	339,000	717,000
湯水時	2,000	87,000	200,000	477,000	766,000	408,000	358,000	766,000
自家用	—	—	185,000	522,000	707,000	—	707,000	707,000
豐水時	—	—	96,000	261,000	357,000	—	357,000	357,000
湯水時	—	—	89,000	261,000	350,000	—	350,000	350,000
合計	4,000	167,000	561,000	1,458,000	2,190,000	786,000	1,404,000	2,190,000
豐水時	2,000	80,000	272,000	720,000	1,074,000	378,000	696,000	1,074,000
湯水時	2,000	87,000	289,000	738,000	1,116,000	408,000	708,000	1,116,000

地 域	想 定 需 要					豫 定 供 給 力		
	A	B	C ₂	D	計	水 力	火 力	合 計
※京 北								
專 業 用	—	4,000	1,145,000	583,000	1,732,000	1,720,000	11,800	1,732,000
豐 水 時	—	2,000	578,000	274,000	854,000	852,000	2,000	854,000
湯 水 時	—	2,000	567,000	309,000	876,000	868,000	9,800	878,000
自 家 用	—	—	402,000	48,000	450,000	253,000	197,000	450,000
豐 水 時	—	—	209,000	25,000	234,000	129,000	105,000	234,000
湯 水 時	—	—	193,000	23,000	216,000	124,000	92,000	216,000
合 計	—	4,000	1,547,000	631,000	2,182,000	1,973,000	203,800	2,182,000
豐 水 時	—	2,000	787,000	299,000	1,088,000	981,000	107,000	1,088,000
湯 水 時	—	2,000	760,000	332,000	1,094,000	992,200	101,800	1,094,000
※四 國								
專 業 用	—	—	455,000	531,000	986,000	666,000	320,000	986,000
豐 水 時	—	—	216,000	261,000	477,000	331,000	146,000	477,000
湯 水 時	—	—	239,000	270,000	509,000	335,000	174,000	509,000
自 家 用	—	—	35,000	34,000	69,000	3,500	65,500	69,000
豐 水 時	—	—	18,000	18,000	36,000	2,000	34,000	36,000
湯 水 時	—	—	17,000	16,000	33,000	1,500	31,500	33,000
合 計	—	—	490,000	565,000	1,055,000	669,500	385,500	1,055,000
豐 水 時	—	—	234,000	279,000	513,000	333,000	180,000	513,000
湯 水 時	—	—	256,000	286,000	542,000	336,500	205,500	542,000

地 域	想 定 需 要					豫 定 供 給 力		
	A	B	C ₂	D	計	水 力	火 力	合 計
※九州								
事業用	83,000	45,000	2,407,000	1,242,000	3,777,000	1,898,000	1,879,000	3,777,000
豐水時	39,000	21,000	1,802,000	618,000	1,880,000	939,000	911,000	1,880,000
湯水時	44,000	24,000	1,205,000	624,000	1,897,000	929,000	968,000	1,897,000
自家用	—	—	950,000	400,000	1,350,000	144,600	1,205,000	1,350,000
豐水時	—	—	504,000	200,000	704,000	79,000	625,000	704,000
湯水時	—	—	446,000	200,000	646,000	65,500	580,000	646,000
合計	83,000	45,000	3,367,000	1,642,000	5,127,000	2,042,500	3,084,500	5,127,000
豐水時	39,000	21,000	1,706,000	818,000	2,584,000	1,048,000	1,536,000	2,584,000
湯水時	44,000	24,000	1,661,000	824,000	2,543,000	994,500	1,548,500	2,543,000
※北海道								
事業用	—	—	698,000	337,000	1,035,000	887,200	147,800	1,035,000
豐水時	—	—	540,000	166,000	506,000	451,000	55,000	506,000
湯水時	—	—	358,000	171,000	529,000	436,000	92,800	529,000
自家用	—	—	447,000	10,000	457,000	18,000	443,000	457,000
豐水時	—	—	237,000	5,000	242,000	7,000	235,000	242,000
湯水時	—	—	210,000	5,000	215,000	6,000	208,000	215,000
合計	—	—	1,145,000	347,000	1,492,000	900,500	380,000	1,492,000
豐水時	—	—	877,000	171,000	748,000	435,000	78,500	748,000
湯水時	—	—	268,000	176,000	744,000	442,200	301,500	744,000

地 域	想 定 需 要					豫 定 供 給 力		
	A	B	C ₂	D	計	水 力	火 力	合 計
※内地總計								
專業用	585,000	577,000	13,871,000	13,337,000	28,229,000	22,741,000	6,516,000	28,260,000
豐水時	186,000	180,000	6,268,000	7,809,000	14,443,000	11,753,000	2,690,000	14,443,000
澇水時	199,000	197,000	6,603,000	7,818,000	14,817,000	10,987,000	3,829,000	14,817,000
自家用	--	--	2,506,000	1,615,000	4,121,000	623,300	3,497,700	4,121,000
豐水時	--	--	1,322,000	810,000	2,132,000	324,000	1,808,000	2,132,000
澇水時	--	--	1,184,000	805,000	1,989,000	299,300	1,689,700	1,989,000
合 計	385,000	377,000	15,377,000	17,242,000	33,381,000	23,364,300	10,016,700	33,381,000
豐水時	186,000	180,000	7,590,000	8,618,000	16,575,000	12,077,000	4,498,000	16,575,000
澇水時	199,000	197,000	7,787,000	8,623,000	16,806,000	11,287,300	5,518,700	16,806,000